

【資料】

『子どもを非行化させるコツ教えます』

—実態から見たベスト10— 小田原少年院

1. 幼いときから冷たく放りっぱなしにせよ。遊び相手になるとかスキンシップは全く無用。
2. 欲しいと言ったら何でもすぐ買い与えよ。がまんさせることは絶対に禁物。
3. 子どもの間違いや失敗は理由を問わず叱りとばせ。口で言うよりひっぱたくほうがいっそうよい。
4. 子どもがどこで何をして遊ぼうが気にとめるな。遊び仲間についても全く知る必要がない。
5. 兄弟やよその子と比較して「おまえはバカだ、だれだれを見習え！」を連発せよ。
6. 忙しいのに食卓のだんらんなど無駄。子どもの話題や関心など無視すれば良い。
7. 子どもが善いことや努力をしてもめったにほめるな。
むしろ、ごまかしや裏切りなど悪事をうまくやったら必ずほめよ。
8. 子どもの前では決して夫婦間の意見を一致させるな。特に父親は難しい問題からうまく逃げよ。
9. お金こそ人生のすべてであると身をもって教え込め。宗教や精神生活を軽蔑させよ。
10. 子どもの前で常に法律、警察、学校、役所の悪口を言い、
社会のきまりや公共機関への敵意を植えつけよ。

もし、以上のすべてを忘れたとしても、次のことだけを心がけるならば、
非行化は効率よく進むだろう。

“いつも夫婦仲悪く暮らし、憎しみあい、できれば不貞をはたらき、
大人のエゴをむき出しにすること”

(出所)『子供を非行化させるコツ教えます』

以前、小田原少年院が一般に配布したものらしいが詳細は不明。その後『読売新聞』(2003年8月12日 よみうり寸評)に紹介されたものは、残念ながら少し省略されているらしい。その源流を調べると、50年以上前にアメリカのデンバー少年裁判所が発表した「子供を悪くする法」という文章であるらしい。当時の多摩少年院長の徳武義さんが、いち早くそれに注目し、翻訳して紹介したという。